

2020年5月21日



# 一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

## 2020年4月 マンスリーレポート

集計企業数 55 社

## ①売上高・前年同月比

|       | 全店            |               |                 | 既存店           |                 |
|-------|---------------|---------------|-----------------|---------------|-----------------|
|       | 売上高           | 構成比(前月)       | 前年同月比(前月)       | 売上高           | 前年同月比(前月)       |
| 総 額   | 61,352,825 万円 | 100.0%        | 108.5% (107.2%) | 59,556,094 万円 | 107.5% (105.6%) |
| 食 料 品 | 54,894,629 万円 | 89.5% (86.9%) | 114.2% (109.7%) | 53,363,959 万円 | 112.6% (107.9%) |
| 農 産   | 8,408,192 万円  | 13.7% (12.8%) | 118.2% (107.9%) | 8,176,721 万円  | 116.5% (106.2%) |
| 水 産   | 4,874,445 万円  | 7.9% (7.9%)   | 109.0% (106.3%) | 4,736,270 万円  | 107.4% (104.5%) |
| 畜 産   | 7,337,586 万円  | 12.0% (11.1%) | 121.1% (112.3%) | 7,127,081 万円  | 119.3% (110.3%) |
| 惣 菜   | 5,552,944 万円  | 9.1% (9.5%)   | 96.5% (100.9%)  | 5,381,446 万円  | 95.0% (99.0%)   |
| 日配食品  | 12,548,283 万円 | 20.5% (19.6%) | 116.5% (111.7%) | 12,202,568 万円 | 115.0% (110.0%) |
| 加工食品  | 16,173,180 万円 | 26.4% (26.0%) | 116.3% (112.6%) | 15,739,872 万円 | 114.9% (110.9%) |
| 生活関連  | 3,524,525 万円  | 5.7% (6.1%)   | 101.8% (107.0%) | 3,431,886 万円  | 101.5% (105.8%) |
| 衣 料 品 | 752,752 万円    | 1.2% (1.9%)   | 48.6% (74.5%)   | 726,811 万円    | 49.8% (74.5%)   |
| そ の 他 | 2,180,920 万円  | 3.6% (5.1%)   | 62.6% (87.4%)   | 2,033,437 万円  | 63.9% (86.0%)   |

## ② 数 値

|        |                            |       |           |
|--------|----------------------------|-------|-----------|
| 全店総売上高 | 61,352,825 万円              | 店舗数   | 4,861 店舗  |
| 総売場面積  | 9,393,140.8 m <sup>2</sup> | 総従業員数 | 258,241 人 |

|                         |                  |                  |                        |
|-------------------------|------------------|------------------|------------------------|
| 店舗平均月商                  | 12,621.4 万円      | 平均客単価<br>(前年同月比) | 2,110.8円 (112.0%)      |
| 月間m <sup>2</sup> 売上(前月) | 6.5 万円 (6.3万円)   | 平均店舗面積           | 1,932.3 m <sup>2</sup> |
| 月間坪売上(前月)               | 21.6 万円 (20.9万円) | パート比率(前月)        | 76.7% (77.2%)          |

注) 総従業員数・・・パート・アルバイト数は、8時間換算しています

## 《 全体概況 》

- ・ 4月の天候環境について、気温は全国的に低く、特に西日本と沖縄・奄美では4月の気温としては2011年以来9年ぶりにかなり低くなった。降水量は、北日本と東日本で多くなり、天候に恵まれた東日本の太平洋側と西日本では日照時間がかなり多くなった
- ・ 生鮮の相場状況について、青果は全体としてやや相場高で推移し、キャベツ、ハクサイ、トマト、キュウリ、ピーマン、ニンジン、ジャガイモなどが前年同月をかなり上回った。果実では、国産のイチゴとリンゴの相場が月間を通し高く推移した。水産物は、コロナ禍により外食を中心に需要が落ち込んだことから市場への入荷量はかなり減少し、卸売平均価格については前年を下回った。畜産物では、外食需要の落ち込みにより和牛の卸売価格が大きく下落した一方で、一般需要が高まった豚肉の卸売価格は高騰した
- ・ 4月度も全国の小・中・高等学校の一斉休校は続き、さらに4月7日には7都府県を対象とした緊急事態宣言が発令、16日には全都道府県まで拡大され、外出自粛や在宅勤務に伴う「巣ごもり」需要が広がった
- ・ 日配食品や加工食品、日用品の一部カテゴリーでは店頭の商品切れが続いている

## 《 商品動向 》

### ○農産

- ・ 野菜では内食需要の高まりと相場環境の影響により、キャベツ、ハクサイ、トマト、キュウリ、ジャガイモ、ニンジンのほか、菌茸類の売上げが好調であった
- ・ タマネギは相場安による販売価格の下落により売上げが不振となった
- ・ 国産果実ではリンゴが好調、イチゴが不調であった
- ・ 輸入果実ではバナナ、キウイフルーツ、ブドウ、オレンジが好調であった

### ○水産

- ・ 鮮魚ではブリやイワシのほか、冷凍魚や漬け魚、切り身が好調となった一方で、マグロや真アジは伸び悩んだ
- ・ 塩干物では塩鮭や魚卵が好調であった
- ・ 旬の商材ではホタルイカやサワラは好調となった一方で、カツオの売上げは伸び悩んだ

### ○畜産

- ・ 牛・豚・鶏・挽肉の精肉全般と、ハム・ソーセージなどの加工肉いずれも好調であり、なかでも豚肉と鶏肉が好調であった
- ・ 新型コロナウイルスの影響による今後の輸入食肉の調達を不安視するコメントが見受けられた

## ○惣 菜

- ・ 春の食材を使用した商品や、新商品・リニューアル品など一部単品商品の動きは良かったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため外出自粛が要請され、花見・行楽需要が下落した結果、弁当・寿司・おにぎりなどの米飯類の売り上げが伸び悩み、部門全体の売り上げも不調となった
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため販売方法の見直し（ばら売りや量り売りの休止）を行った結果、揚げ物や天ぷらが不調となったという売り上げのコメント以外に、作業量増加といった生産性の悪化についてもコメントが見られた

## ○日配食品、加工食品

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のための一斉休校による昼食需要と、外出自粛・在宅勤務による内食需要の高まりにより、ほとんどの商品群が好調となった。特に簡便調理用の食品が好調となり、チルド麺、インスタントラーメン、パスタ・パスタソース、冷凍食品、ピザ、パン類、小麦粉・お好み焼き粉・たこ焼き粉など粉製品、牛乳、卵が好調となったほか、ホットケーキミックスや生クリーム、バターなど手作り製菓材料の売り上げが大きく伸長した
- ・ 納豆やキムチ、ヨーグルトなどの発酵食品、乳酸菌関連商品が好調であった
- ・ 家飲み需要が高まり、酒類や珍味、豆菓子などが好調であった

以上